

改憲問題と日本の政治状況 (仮題)

森友・加計学園問題の公文書の隠滅・改ざん、陸上自衛隊の日報問題など民主主義の根幹を揺るがす事件が相次ぐなか、今年3月、自民党は「自衛隊を明記する9条改憲」、「緊急事態条項」、「教育無償化」、「参院選挙の合区解消」の改憲4項目の条文素案を公表しました。しかしその全てが重大な問題をはらんでおり危惧されています。そして、憲法改正が国民投票法によって主権者の最終判断を受けるものの、有効投票総数の過半数で憲法改正が成立してしまう不合理性もあります。政府の改憲案が目指す社会とは、改憲策動に私たちはどう立ち向かえばいいのか、日本社会に展望はあるのか等をお話いただきます。

講師

神戸女学院大学教授

石川康宏 さん



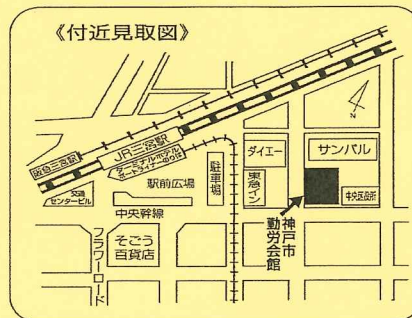
●プロフィール

1957年生まれ。立命館大学2部経済学部、京都大学大学院経済学研究科卒業。1995年、神戸女学院大学赴任。2004年より教授。近著に『若者よ、マルクスを読もうⅢ』(共著)、『憲法が生きる市民社会へ』(共著)、『日本の民主教育 2017』(共著)、『本当は怖い自民党改憲草案』(共著)など多数。憲法が輝く兵庫県政をつくる会代表幹事、全国革新懇代表世話人、日本平和委員会代表理事他。



一般参加の方は資料代500円をお願いします

とき 2019年 2月14日(木)
18:30~ (18:00開場)
ところ 神戸市勤労会館 403



JR・阪急・阪神・市営地下鉄各三宮から東へ徒歩約5分 tel/078-232-1881

連絡先：兵庫民法協 tel/fax078-341-3422

(2018.12.25)